

# 7月 もりぴただより



2024.7.23  
放課後等  
デイサービス  
もりぴた

もりぴた夏休み恒例？のひつじが今年もやってきました！名前は“なおこ”と“しょうい”です。なおこは昨年の“ひー”のお母さんなんだとか…ひつじ達は8月末までいますので、ぜひぜひ皆さまお顔を見に来てあげてください。きっと「べえ〜！」とお迎えしてくれますよ。

## しごとと半分あそび半分

あそんでいるつもりが誰かのためになっている、なんて、素敵なことが普段からもっとあればいい。もりぴたが目指している“あそび”はそんなものかも。



あそび中？休憩中？わかるようでわからない…一体、どういう状況なのだろう…



色水づくりのためにサクラの実を協力採取！



色水できた！手があ！！！！！！



雨の日に傘を忘れたら、あり物でつくってしのげばなんとかなる。



「ここをキャンプ地とする！」の名言とともに始まったキャンプ場づくり。それぞれが役割を全うしてます。



もりぴた名物“駅看板”づくり。今日は何駅を？



登録児童数：26人・スタッフ：8人（2024.7.1現在）

## コラム

ひつじ達が今年ももりぴたにやってきてくれました、というよりもりぴたから、今年もオファーしました。昨年よりも少し大きいひつじ達が夏休みの間、もりぴたにいてくれます。元気に健康で過ごしてほしいものです。さて、こども達はといえば、昨年に続いてのひつじを心待ちにしていた子もいれば、ひつじが来るなら外に出たくないという子など、いろいろな反応があります。正直、期間限定とはいえ、施設で生き物を飼うということは、それはそれは大変で、日頃の活動に加えてお世話があることは、施設としては大きな負担です。それでも、スタッフ内で話し合い、今年もひつじを呼ぶということを決めた裏には、ひつじがいることで得られる“経験”や“体験”が大きいと考えているからです。

昨年、初めてひつじを受け入れた際に、同じくこども達からいろいろな反応があり、中にはほとんどかかわらなかった子もいました。そして、受け入れ期間が終わってひつじ達が帰り、ひつじがいなくなった施設でふと、ひとりの子から「もっと関わっておけばよかったな…」という言葉がありました。その子としては、いなくなることが分かっているひつじにあまり愛着をわかせることができなかったから関わらなかったそうですが、いなくなった後に後悔を感じているようでした。私は、その子の心の中で起こったこの体験に、なんという体験の深さかと、驚きました。同時に、これは大人が意図して作るプログラムやあそびではつくれないものだとも思いました。ただ、ひつじがいたこと、がその子の深い体験を生んだのです。

ひつじという動物に対して、それぞれに好き嫌いは当然あります。ですが、こどもから大人に至るまで、自分の周囲の人や物事は、好きなものだけにはできず、また好き嫌いで分けられるものばかりでもありません。「好き」も「嫌い」も「どちらでもない」も、ただそこにあることを受け入れ、それぞれにちょっとずつ心や気持ちを揺さぶられたり揺さぶられなかったりしながら、日々を過ごしていくしかないと思うのです。それを、言葉を使わず、穏やかに、ただそこにいることで、私たちに気づきをもたらしてくれるひつじを、今年もひとりの先生として迎えたいと思い、迎えています。こども達それぞれにいろいろな反応があると思います。そのひとつひとつが、大きな意味がある“経験”と“体験”であると信じて、見守っていただけたら幸いです。

(管理者 崎川)



ひつじ飼いのキミキミ（積丹しおかぜ羊：皆川公信さん）曰く、写真右の“ナオコ”の名前の由来は、タレントの“研ナオコ”に似ているから、だそうです。よ〜く見ていると、“ナオコ”と研ナオコが歩み寄ってくる、とのこと。笑ぜひ、お越しになって見てみてください。

## 7月の行事

- 6日 ひつじの毛刈り体験
- 11日 緊急時対応研修
- 13日 もりぴたcafe
- 25日 公園おでかけ
- 31日 川遊び

## お知らせ

### 【虫よけについて】

夏季はお庭に虫が増えます。こちらでも対処を行っておりますが、気になるお子さんには市販の虫よけなどを持参させてください。また、ハチ等は柔軟剤や飲料の甘い匂いに寄ってきますので、匂いの強いもの等は控えていただけると幸いです。

7月 もりぴただより（裏面）

